

(令和元年 12 月試験研究業務月報)

試験研究課題名：洗浄機とファインバブル発生機等を活用したエビイモ貯蔵技術の開発

研 究

エビイモの調製省力化試験を実施

エビイモ栽培では、収穫後に手作業でイモの土を落とす調製作業に多大な労力を要し、生産規模の拡大を制限する要因の一つとなっています。

そのため、当センターでは、根菜類洗浄機を利用した調製作業の省力化試験を今年度から開始しました。

当センター内ほ場で栽培し、11月中旬に収穫したエビイモを洗浄機にかけ、ブラシの回転数と水圧を調節することで、エビイモ特有の縞模様を残した状態で土を落とすことができ、手作業に比較して大幅な省力が可能となることを確認しました。また、この効果を報告する生産者や農協担当者を対象とした実演会では、大きな省力効果が期待できるとの感想をいただきました。

今後、洗浄したエビイモの保存性について調査する予定にしています。



洗浄機による洗浄の様子
([洗浄の動画はこちら](#))



洗浄後の状態